

平成29年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会（第1日）

1. 出席議員（10名）

1番	白	水	勝	己	2番	與	國	洋	
3番	原	口	憲	雄	4番	松	尾	正	貴
5番	津	留	涉		6番	中	原	智	昭
7番	岩	渕	穰		8番	春	田	智	明
9番	壽	福	正	勝	10番	野	口	明	美

2. 欠席議員（なし）

3. 説明のために出席した者の職氏名（10名）

企業長	井上澄和	副企業長	武末茂喜
参与	後藤俊介	参与	八尋博基
局長	櫻井隆司	総務課長	山崎巖
浄水課長	重松岩敏	施設課長	平山幸生
料金課長	山川誠治	水源対策課長	安藤敏洋

4. 出席した事務局職員の職氏名（2名）

事務局長	飛永勝次	書記	糸山明宏
------	------	----	------

5. 議事日程第1号

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号から議案第5号の上程、提案理由の説明

日程第4 議員提出議案第1号及び議員提出議案第2号の上程、提案理由の説明

6. 会議に付した事件名

議案第1号 春日那珂川水道企業団水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第2号 春日那珂川水道企業団職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第3号 平成28年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算（第3号）

議案第4号 平成29年度春日那珂川水道企業団水道事業会計予算

議案第5号 春日那珂川水道企業団監査委員の選任について

議員提出議案第1号 春日那珂川水道企業団議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

議員提出議案第2号 春日那珂川水道企業団議会会議規則の一部を改正する規則の制定に
ついて

開会 14時00分

○原口議長 それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから平成29年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会を開会いたします。

本日の会議は、お手元に配付いたしております議事日程第1号により議事を進めてまいります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

10番野口明美議員、1番白水勝己議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定を議題といたします。

今次定例会の会期は、本日、あすの2日間と決定いたしたいと存じます。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○原口議長 御異議なしと認めます。よって、今次定例会の会期は本日、あすの2日間と決定いたしました。

日程第3、今次定例会に提出されております議案第1号から議案第5号を一括議題といたします。

早速、提案理由の説明を求めます。

井上企業長。

○井上企業長 本日、ここに平成29年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会を招集しましたところ、議員各位におかれましては大変御多用のところ、特に那珂川町選出の議員におかれましては改選前の御多忙中、御出席いただきましてまことにありがとうございます。

さて、当企業団の水問題につきましては、昨年3月、福岡市と暫定的かつ特例的支援措置として水道用原水の融通による基本協定を締結し、平成28年3月31日までに違反状態を解消したところでありますが、御承知のとおり、暫定的な措置で、期限が平成32年3月末までとなっております。現在、一日も早く恒久的な水源の確保を目指して正常な状態を取り戻すため、新幹線トンネル湧水の取水を初め、あらゆる方法を模索、検討しているところでございます。春日、那珂川町の住民の皆様への不安を解消し、安心・安全な水を安定的に供給できるよう最大限の努力を続けてまいりますので、引き続き議員各位の御理解、御支援を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

また、先日は今季最大の寒波が到来するという予報であり、昨年の凍結による漏水が懸念されましたので、広報車、ホームページ等で各御家庭への周知をいたしました。幸い、昨年のような被害もなく、数件の問い合わせのみで終始したとの報告を受けております。今後も寒波については、昨年の例を教訓に、適切な対応に努めてまいりますので、御理解

と御協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

さて、本日提出いたしております議案は、議案第1号から議案第5号までの5件でございます。

議案第1号は、春日那珂川水道企業団水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。これは、水需要予測を踏まえた給水人口及び供給量の変更に伴い、所要の改正をするものであります。

議案第2号は、春日那珂川水道企業団職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。これは、国家公務員の本年度の給与等が改正されたことに伴い、条文の整備を図るものでございます。

議案第3号は、平成28年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算（第3号）でございます。収益的収入において、水道料金収入などの増額及び消費税及び地方消費税還付金の減額等により1,155万2,000円の増額補正、また収益的支出において、那珂川流況調査費、動力費等の減及び東隈8号取水井残存管撤去工事における特別損失の減等により7,688万円の減額補正をするものでございます。また、資本的収入において、下水道関連工事に伴う工事負担金の減及び県道工事の変更に伴う一般会計出資金の減により733万5,000円の減額補正、資本的支出において、東隈浄水場改良工事の一部を平成29年度へ先送りしたこと及び県道工事に伴う布設替工事の減により4億2,215万4,000円の減額補正を行うものでございます。

議案第4号は、平成29年度春日那珂川水道企業団水道事業会計予算でございます。平成29年度の水道事業収益は31億1,185万円で、前年度と比較しますと、水道料金が増額となっておりますが、営業外収益が減収となっており、結果、前年度比で2,964万8,000円の減で、ほぼ同等の収入となっております。水道事業費用の総額は32億3,320万7,000円で、主に東隈浄水場の旧施設の解体に伴う資産減耗費の増額により、前年度比約18%の増額となっております。収益的収支の結果、平成29年度の税抜き後純利益は2億6,516万円の赤字となっております。次に、資本的収入の総額は3億7,424万8,000円で、前年度予算の約17%となっております。これは、東隈浄水場施設改良事業が最終年度となり、企業債を3億円、国庫補助金なし、一般会計出資金が大幅に減額したことが主な要因です。また、資本的支出の総額は25億6,356万3,000円で、前年予算の約72%となっております。これは、東隈浄水場施設改良事業による工事費が最終年度で減少となったこと、また五ヶ山ダムも最終年度で負担金が減少となったことが主な要因です。結果、資本的収支の不足額は21億8,931万5,000円となり、内部留保資金等で補填いたします。

議案第5号は、監査委員の選任についてでございます。現在2名の監査委員のうち、1

名の方が平成29年3月31日をもって辞職されることに伴い、後任の監査委員を選任するものでございます。

上程いたしました議案は、いずれも水道事業運営上、極めて重要な案件でございます。何とぞ慎重に御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明を終わらせていただきます。

なお、詳細につきましては担当課長から補足説明をさせますので、よろしくお願い申し上げます。

○原口議長 企業長による提案理由の説明は終わりました。

次に、補足説明を求めます。

安藤水源対策課長。

○安藤水源対策課長 議案第1号の補足説明をさせていただきます。

本日の定例会議案の赤のインデックス、議案第1号関連資料をお開きください。インデックスのついているページが表紙になっておりますので、次の1ページ目に新旧対照表がありますので、そちらで説明をさせていただきます。

本条例の主な改正内容は、第2条第4項の給水人口を15万2,100人から15万4,700人へ、同条第5項の1日最大給水量を4万2,000立方メートルから4万1,800立方メートルへ変更するものです。それぞれの増減数量は、給水人口が2,600人の増、1日最大給水量が200立方メートルの減となっております。

この変更は、平成27年度の決算における給水人口が15万2,468人と、前回認可値の計画給水人口15万2,100人を超えていたところから水需要予測を行い、その結果に基づくものです。水需要予測の基本的な考え方は、両構成団体が策定した第5次総合計画後期基本計画の行政区域内人口をもとに、給水区域内の人口、普及率、1人1日平均使用量などから算出しています。

また、第2項では条文中の文言を整理をしております。

以上で補足説明を終わります。

○原口議長 山崎総務課長。

○山崎総務課長 それでは、私から議案第2号から議案第5号までの補足説明をさせていただきます。

議案第2号につきましては、赤いインデックスがついております関連資料をごらんください。インデックスのページを1枚めくっていただきますと、春日那珂川水道企業団職員の給与の種類及び基準に関する条例の新旧対照表がございます。この中で改正をするわけでございますが、これは国家公務員の一般職の給与に関する法律が改正されたことに伴い

まして文言の整理をするものでございます。

第2条の第3項でございますが、管理職員特別勤務手当という項目が欠落いたしておりましたので、ここを整理をいたします。それから、第6条につきましては、扶養手当の項目でございます。扶養手当の文言を整理しますとともに、第2項の第2号、第3号に子供に関する件、孫に関する件が書いてございましたが、このところは各号列記に変わったものでございます。これに伴いまして当企業団の条例を改正させていただくものでございます。

次に、議案第3号でございます。

議案第3号は、同じく赤いインデックスの議案関連説明資料というものがございます。赤いインデックスの4番目のインデックスになります。そこを2枚めくってまいりますと、A3横の補正予算の一覧表が出てまいります。赤いインデックスの4番目です。申し上げます。

失礼しました。議案第3号説明資料というふうにインデックスに出てると思いますので、よろしくお願ひします。議案第3号説明資料でございます。そこを2枚めくってまいりますとA3横が出てきますので、これで説明をいたします。

平成28年度補正予算（第3号）でございます。

収入予算額、左の上の太枠で囲んだ中が収益的収入及び支出の収入の部門でございます。

水道事業収益、合計額が31億8,930万7,000円となっております。既決予定額は31億7,775万5,000円、補正予定額を1,155万2,000円、合計額の31億8,930万7,000円となっております。

営業収益のうちに、給水収益——上から3行目です——24億8,388万8,000円、これを3,983万7,000円増額をいたしまして、合計額の25億2,372万5,000円というふうになります。これは給水収益が予想よりも大口使用者が使用量が伸びまして、これで増額になりましたので、補正増とさせていただきます。

その次でございます。その他営業収益、これは修理負担金が減りまして、原因者分でございますが、その修理負担金が減っておりますので、1億1,210万1,000円を299万5,000円増額いたしまして1億1,509万6,000円というふうになります。

その次の行です。営業外収益5億8,176万6,000円、これを3,128万円減額いたしまして5億5,048万6,000円というふうになります。これの内容でございますが、加入負担金といたしまして300万円の増額、他会計補助金、これは一般会計から収入となって来るものでございますが、児童手当の減が10万円、それから消費税及び地方消費税還付金、これが

3,596万円減額となっております。これは東隈の工事の繰り越し等によります仮払消費税の減でございます。それと、最後にその他営業外収益として178万円増額をいたして、合計額は31億8,930万7,000円というふうになります。

次に、上の段の大きく囲みました右側でございます。これは収益的収入及び支出の支出の部門でございますが、水道事業費用が28億5,032万6,000円、補正予定額が7,688万円の減、合計額の27億7,344万6,000円となります。

この内容でございますが、営業費用のうち、原水及び浄水費というものが3行目でございます。4億2,528万6,000円を2,842万9,000円減額いたしまして3億9,685万7,000円、これは那珂川流況調査費、それから浄水場の動力費——電気代でございます、修繕費等の減によるものでございます。

その次に、配水及び給水費で189万円、これは委託料を総係費で組んでおりましたものを、各課、この場合は施設課でございますが、組み替えをいたしました。その189万円の組み替えによりまして、8,524万1,000円が8,713万1,000円となります。

次に、業務費でございます。4,474万9,000円を579万5,000円増額補正をいたしまして5,054万4,000円、これも同じく委託料を総係費から組み替えるものでございます。

その次の総係費が4億3,422万8,000円ですが、これを1,033万9,000円の減額をいたしまして4億2,388万9,000円、これは今申し上げました委託料の組み替えと、法定福利費といえます間接人件費の減等によるものでございます。

次に、議会費は35万5,000円の減でございます。

ずうっと下におりていきまして、特別損失というところがございます。1億1,627万6,000円、これを4,544万2,000円の減額でございます。合計の7,083万4,000円となります。こちらは、残存管、集水管がございました。水源問題の集水管がございました。これの撤去等に係るものでございます。

合計額が、水道事業費用が28億5,032万6,000円、補正減額の7,688万円で、合計額の27億7,344万6,000円となります。

収入額から支出額を引きます。枠外でございます。収益的収支は、31億8,930万7,000円から支出額27億7,344万6,000円を引きますと4億1,586万1,000円となります。これの税抜き後の純利益が、その下に括弧書きで2億3,395万3,000円というふうになります。

続きまして、太い枠で囲んだ表の左側から、資本的収入及び支出の収入の部分でございます。

資本的収入13億6,152万円、これを733万5,000円の減額をいたしまして、合計額の13億5,418万5,000円となります。

これの補正の内容でございますが、工事負担金411万3,000円の減額でございます。これは雨水幹線工事が中止ということになりまして、当企業団のほうに入ってきます布設替工事の負担金が減るものでございます。

次に、出資金、一般会計出資金でございます。これは老朽管の布設替工事ということで、県の工事がございます。県道工事がございます。こちらのほうが先送りまたは中止になりまして、322万2,000円の減額でございます。

13億6,152万円、減額補正733万5,000円、合計の13億5,418万5,000円ということになります。

次に、右側の太枠内をごらんください。

資本的支出でございます。34億9,641万9,000円の既決予定額に対しまして、補正が4億2,215万4,000円の減額でございます。その結果、30億7,426万5,000円ということになります。

内容でございますが、建設改良費がその下でございます。この内訳で3行目に水源・浄水場施設整備費というものがございます。26億4,107万1,000円、これを3億4,137万4,000円減額をいたします。これは東隈浄水場の事業費です。これを29年度へ持っていくので、合計額が22億9,969万7,000円になります。次に、配水施設整備費3億158万9,000円、これを8,040万1,000円減額いたします。これは先ほど収入で申し上げました老朽管工事等でございます。県工事等でございます。合計額の2億2,118万8,000円となります。

1つ飛ばしまして、諸設備費3,114万8,000円で、メーターの出庫の減によります21万5,000円の減額、合計額の3,393万3,000円ということになります。

それから、2行あけて、投資でございます。投資額3,645万円の既決に対しまして16万4,000円の減額、これは福岡地区水道企業団への出資金が減となったものでございまして、合計額は3,628万6,000円になります。

結果、資本的支出は34億9,641万9,000円、これに4億2,215万4,000円の減で30億7,426万5,000円となります。

右の枠外をごらんください。

資本的収支があります。資本的収入13億5,418万5,000円から資本的支出の30億7,426万5,000円を引きますと、17億2,008万円が不足となります。その下でございます。この17億2,000万円余を補填いたします財源がありまして、消費税資本的収支調整額1億8,947万8,000円、次に建設改良積立金5億円、過年度留保資金等って書いております10億3,060万2,000円で補填をいたします。17億2,008万円でございます。

以上が補正予算の概要でございます。

続きまして、お手元に配付いたしております資料、その次の赤いインデックス2つ目でございます。議案第4号説明資料というものがございます。赤いインデックスの下から4番目でございます。そこを2ページめくっていただきますと、A3横の表が出てまいります。こちらで説明をいたします。

平成29年度当初予算でございます。

先ほどと同じく、左上が収益的収入でございます。

水道事業収益、当年度予算案を申し上げます。31億1,185万円。

内訳としまして、主に給水収益でございます。1行飛ばしまして、給水収益25億394万円でございます。こちらは、昨年度当初予算に比べまして2,000万円余の増が出ております。これは1%の増額が自然増として増えておるといところで計上をいたしております。その他営業収益といたしまして1億590万1,000円、これは修理負担金等々でございます。

営業外収益が5億200万9,000円でございます。これは加入負担金が1億4,400万円、他会計補助金859万3,000円、これは福岡地区水道企業団へ構成団体からの支払いのあるものでございます。それから、長期前受金戻入2億8,387万2,000円、それから消費税及び地方消費税の還付金5,023万8,000円でございます。それから、その他営業外収益、これは受取利息等でございますが、1,530万6,000円。合計額は31億1,185万円となります。

それから、右のページをごらんください。

右のページの水道事業費用でございます。29年度は32億3,320万7,000円、昨年度当初に比べまして5億円余の増額となっております。

これは営業費用が、1つ飛ばしまして、営業費用の内訳を申し上げます。

原水及び浄水費4億8,144万2,000円、1,000万円ほどの増となっておりますが、これは東限浄水場の運転が変更となってまいりますので、薬品費等を計上いたしました結果がこの数字となっております。

それから、配水及び給水費8,695万6,000円、こちらは100万円ほどの増額となっておりますが、漏水修理の委託料等々でございます。

業務費6,955万8,000円、昨年度に比べまして2,315万円ほどが増額となっておりますが、検針の委託料が主でございます。こちらで2,981万円ほど増額となっております。

それから、総係費でございます。4億2,215万4,000円、昨年度に比べまして3,269万4,000円の減となっておりますが、これは事務補佐等を各課に振り分けをして予算計上をしたためでございます。議会費はほぼ横並びでございますが454万5,000円。監査費は71万

円。

受水費が7億3,161万円でございます。昨年度の当初に比べますと1億333万円増額となっておりますが、昨年度は福岡市の原水を含まずに予算を計上いたしましたので、今回は福岡地区水道企業団の今までの受水、それから暫定増分の受水費、それから福岡市の原水を融通していただく分の予算を計上いたしておりますので、こちらのほうが1億300万円程度増額となっております。

それから次に、減価償却費7億6,046万1,000円、昨年度対比の7,114万6,000円減額となっております。これは東隈浄水場の構築物等々を除却をいたします関係上、減価償却費が減額となっております。

その次に、資産減耗費でございます。資産減耗費は4億7,752万8,000円、昨年度よりも4億4,434万3,000円増額となりますが、これは減価償却の残存価格があるものを除却します関係上、東隈の分がここに計上されます。

次に、営業外費用でございます。

営業外費用は補助金、この補助金は一般会計から収入をしてそれを支出する分でございます、これが560万9,000円でございます。昨年度比の70万2,000円の減です。支払い利息1億3,793万9,000円、昨年度比197万3,000円の減です。支出に変わりはありません。

特別損失でございますが、4,928万5,000円で、昨年度当初対比が2,512万円となっております。これにつきましては、過年度損益修正損、1行飛ばしましてございますが、こちらで下水道の賦課徴収料をいただいております、春日市、那珂川町さんからいただいておりますが、こちらのほうが会計制度の見直しによる単価の変更がございます。平成26年度分の会計制度の見直しにおいて見直しを行っておりますので、その分の還付金が発生いたしますので、1,731万4,000円でございます。それと、その他特別損失として3,197万1,000円、これは集水管の撤去に伴う費用でございます。

予備費はそのまま500万円でございます。

水道事業費用は32億3,320万7,000円となります。

枠外をごらんください。収益的収支というふうに書いております。

収益的収入31億1,185万円、収益的支出32億3,320万7,000円、収支の差し引き額、△で1億2,135万7,000円、これは税抜き後で計算をいたしますと、2億6,516万円の赤字ということになります。

それから、下のほう、太い枠内の左側、資本的収入でございます。

資本的収入の総額は3億7,424万8,000円、昨年度比18億526万3,000円の減額でございます。

この内容といたしましては、企業債が昨年度は12億円で組みましたものに対して、今年度は3億円でございます。東限の事業が最終年度となりますので、このところは3億円で企業債の借入れの予定でございます。

それから、工事負担金2,326万2,000円を計上しております。これは昨年度対比1,700万5,000円でございます。こちらにつきましては、消火栓の負担金、それから浸水対策事業によります配水管布設替工事の負担金として計上をいたしております。

それから、出資金でございます。これは先ほども申し上げました福岡地区水道企業団への出資金、これが入ってきますのが5,098万6,000円、昨年度対比4億2,468万7,000円ということになります。

資本的収入の合計額は3億7,424万8,000円となります。

それから、太い枠の右側半分でございます。

資本的支出25億6,356万3,000円を計上いたしております。昨年度当初対比10億1,456万円の減です。

主な内訳は、建設改良費のうちの、1つ飛ばしまして、水源・浄水場施設整備費16億2,744万1,000円を計上いたしておりますが、こちらも昨年度対比10億4,622万円の減でございます。ここは東限の最終年度に当たるものでございます。それから、配水施設整備費3億6,730万1,000円、こちらは昨年度対比の2,000万円余の増。それから次に、五ヶ山ダム建設事業費2,575万円、これは昨年度対比4,217万3,000円の減でございますが、五ヶ山ダムも最終年度となっておりますので、負担金が大きく減少となっております。それから、諸設備費6,681万円を計上しております。これはメーターの分でございます。2,807万円余の増額でございます。

それから、企業債償還金は4億4,325万7,000円を計上いたしております。昨年度対比2,982万円余でございます。

それから、投資、これは福岡地区水道企業団への出資金でございますが、3,200万4,000円を計上してございまして、昨年度対比444万6,000円の減でございます。

それから、予備費は100万円を計上いたしております。

結果、資本的支出は25億6,356万3,000円となります。

枠外をごらんください。

資本的収支でございます。資本的収入3億7,424万8,000円、資本的支出が25億6,356万3,000円。資本的収支の不足額でございます。21億8,931万5,000円。この補填財源は、下に書いてございますが、消費税資本的収支調整額1億4,983万1,000円、建設改良積立金が2億円、過年度留保資金が18億3,948万4,000円で、21億8,931万5,000円の不足額を補填

いたします。

以上が議案第4号の説明でございました。

次に、議案第5号を御説明申し上げます。

議案第5号は、青いインデックスでございますが、監査委員が2名おられますうちの1名の方から辞職の願いが出ました。29年3月31日をもって辞職をとということでございますので、後任の監査委員の選任の同意を求めたものでございます。

以上、補足説明を終わらせていただきます。

○原口議長 日程第4、次に議員提出議案第1号及び議員提出議案第2号を一括議題といたします。

早速、提案理由の説明を求めます。

春田議会運営委員会委員長。

○春田議員 春日那珂川水道企業団議会運営委員会委員長、春田智明です。

議員提出議案2件につきまして、私から提案の理由の説明をさせていただきます。

議員提出議案第1号は、春日那珂川水道企業団議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。

提案理由は、地方自治法が一部改正されたことに伴い所要の規定の整備を図る必要があり、これがこの条例案を提出する理由でございます。

続きまして、提案理由の補足説明をいたします。

春日那珂川水道企業団議会委員会条例の一部を改正する理由といたしましては、地方自治法の一部が改正されたことに伴い、所要の規定の整備を図るものが3点ございます。

1点目は、本委員会条例の根拠規定が改正され、規定の整備を図る必要が生じたことです。

2点目は、議会運営委員会の委員に関する根拠規定が廃止され、委員の任期などの規定の整備を図る必要が生じたことです。

3点目は、特別委員会の特別委員に関する根拠規定が廃止され、委員の任期などの規定の整備を図る必要が生じたことです。

以上3点の理由により所要の規定の整備を図ることを目的に、この条例案を提出するものでございます。

次に、議員提出議案第2号は、春日那珂川水道企業団議会会議規則の一部を改正する規則の制定についてでございます。

提案理由は、地方自治法の一部が改正されたこと、標準議会会議規則の一部が改正されたこと、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されたことに伴い、所要

の規定の整備を図る必要があります、これがこの規則案を提出する理由でございます。

続きまして、提案理由の補足説明をいたします。

春日那珂川水道企業団議会会議規則の一部を改正する理由といたしましては、3点ございます。

1点目は、地方自治法の一部が改正され、本会議における公聴会の開催及び参考人の招致が可能となり、新たに公聴会及び参考人の条文を追加する必要性が生じたことです。

2点目は、男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、議会における欠席の届出の取り扱いに関し、議員の出産の場合の欠席の届出について新たに規定を追加する必要性が生じたことです。

3点目は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に伴い、議場などにおいて合理的な配慮を必要とする者に対して適切な対応を行う必要性が生じたことです。

以上3点の理由により所要の規定の整備を図ることを目的に、この規則案を提出するものでございます。

以上、議員提出議案につきまして提案理由の説明をさせていただきました。

○原口議長 提案理由の説明は終わりました。

これで提案理由の説明及び補足説明は終わりました。

以上で本日の日程は終了いたしました。

あすは午後2時から本会議を開催いたします。

これをもちまして本日の会議を終了いたします。

散会 14時44分